

令和4年度 社会福祉法人大崎上島町社会福祉協議会

事業報告

社協基本理念

島だからこそできる

家族のような

“互近助” どうしの支え合い

そんな福祉のまちを

住民とともに目指します

令和 4 年 度

社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会事業報告

大崎上島町が策定した「第2次地域福祉計画（平成31年度～5か年）」に、社会福祉協議会は地域福祉を推進する中心的な団体として、地域に密着した活動を安定的に継続して実施していくことが求められています。

住民の皆様と共に“住民が安心して暮らし続けられるまちづくり”に向け、「第4次地域福祉活動計画」（初年度）に沿い、令和4年度重点事業として、①相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、相談を受け止める「町域の福祉総合相談窓口」の構築。②新たな福祉活動ができる人材（ボランティア等）の確保に向けた「赤い羽根ボランティアスクール」の開催。③住民が気軽に集える地域の居場所を確保し、住民のつながる通いの場として「サロン活動」の拡充・強化。④小地域における共助の仕組みづくりを推進するため「地域づくり会議」の組織化。⑤生活支援コーディネーターを配置し、生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた「支え合う地域づくり協議体委員会」の開催等に取り組みました。

地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進するとともに、ウィズコロナの視点を持った感染症対策を講じつつ、地域福祉を推進する中核機関としての役割を果たすための事業を積極的に行いました。

地域包括支援センターでは、住民が住みなれた地域で暮らし続けていけるように、高齢者の総合相談、権利擁護、介護予防マネジメント、包括的・継続的ケアマネジメント等を実施するとともに、地域包括支援ネットワーク会議を定期的を開催し、多職種協働による包括ケアシステムの構築を目指し事業を実施しました。

大崎上島町社協居宅介護支援事業所では、公正中立の立場で利用者の選択に基づき介護支援計画を作成し、適切な保健医療及び福祉サービスを総合的かつ効果的に提供いたしました。また、町からの委託事業である介護認定訪問調査の実施等、介護保険事業の推進に協力しました。

以下、事業ごとに詳しくご報告します。※〈 〉の中の数字は昨年度の実績です。

1. 法人運営部門

(1) 役員会等の開催状況

①理事会（会場：木江保健福祉センター）

- ・第1回理事会 令和4年6月3日（金） 午後1時30分～ 出席者：7名
 - 報告事項ア 会長の職務の執行状況について
 - 報告事項イ 令和3年度決算監査の報告について
 - 報告事項ウ 居宅介護支援事業所の資金収支の状況について
 - 報告事項エ 正規職員の採用について
 - 第1号議案 令和3年度事業報告(案)及び収支決算(案)の承認について
 - 第2号議案 令和4年度一般会計（第1次）補正予算（案）の承認について
 - 第3号議案 令和4年度定時評議員会の招集について
- ・第2回理事会 令和4年9月29日（木） 午後1時30分～ 出席者：9名
 - 報告事項ア 中外製薬株式会社「2022年度在宅福祉助成事業」について
 - 報告事項イ 大崎上島町ふるさと納税の交付金について
 - 報告事項ウ 大崎上島町「噴霧器購入助成事業」について
 - 報告事項エ 県立広島大学重点研究事業の実施について
 - 報告事項オ パート職員等の賃金の改定について
 - 第4号議案 令和4年度一般会計（第2次）補正予算（案）の承認について
 - 第5号議案 令和4年度第2回評議員会の招集について
 - 協議事項1 第11回ふくしのまちづくりのつどいの開催について
- ・第3回理事会 令和5年3月10日（金） 午後1時30分～ 出席者：9名
 - 報告事項ア 会長の職務の執行状況について
 - 報告事項イ 令和4年度定期（中間）監査報告について
 - 報告事項ウ 職員給与規程の一部改定について
 - 報告事項エ 嘱託職員の採用について
 - 報告事項オ 大崎上島町ふるさと納税の交付金について
 - 第6号議案 令和4年度一般会計（第3次）補正予算（案）の承認について
 - 第7号議案 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について
 - 第8号議案 就業規則の一部改正について
 - 第9号議案 パート職員等就業規則の一部改定について
 - 第10号議案 職員給与規程の一部改定について
 - 第11号議案 第三者委員の任期満了に伴う選任について
 - 第12号議案 令和4年度第3回評議員会の招集について
 - 第13号議案 社協ふれあいサービス事業実施要綱第14条関係別表の一部改定について
 - 第14号議案 認知症高齢者コミュニティー・ケア「夢ハウス」実施要綱第12条関係の一部改定について

②評議員会（会場：木江保健福祉センター）

- ・第1回評議員会 令和4年6月20日（月） 午後1時30分～ 出席者：19名
 - 報告事項ア 令和3年度決算監査の報告について

第1号議案 令和3年度事業報告(案)及び収支決算(案)の議決について

第2号議案 令和4年度一般会計(第1次)補正予算(案)の議決について

- ・第2回評議員会 令和4年10月19日(水) 午後1時30分～ 出席者:17名

報告事項ア 第11回ふくしのまちづくりのつどいの開催について

第3号議案 令和4年度一般会計(第2次)補正予算(案)の議決について

- ・第3回評議員会 令和5年3月27日(月) 午後1時30分～ 出席者:19名

報告事項ア 令和4年度定期(中間)監査報告について

報告事項イ 就業規則の一部改正について

報告事項ウ パート職員等就業規則の一部改定について

報告事項エ 職員給与規程の一部改定について

報告事項オ 社協ふれあいサービス事業実施要綱の一部改定について

報告事項カ 認知症高齢者コミュニティー・ケア「夢ハウス」実施要綱の一部改定について

第4号議案 令和4年度一般会計(第3次)補正予算(案)の議決について

第5号議案 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)の議決について

③監査会(会場:木江保健福祉センター)

- ・第1回監査会 令和4年5月26日(木) 午後1時30分～ 出席者:2名

・令和3年度 決算監査 業務監査並びに会計監査

- ・第2回監査会 令和4年11月28日(月) 午後1時30分～ 出席者:2名

・令和4年度 定期(中間)監査 事業並びに会計監査

④評議員選任・解任委員会

- ・開催なし

⑤苦情解決に係る第三者委員会(会場:木江保健福祉センター)

- ・第1回苦情解決に係る第三者委員会 令和4年7月26日(火) 午後1時30分～

(2) 経理事務・財務管理 関係法令に則り適切に処理を行った。

(3) 職員採用や人事・労務管理、研修、能力開発

①職員連絡会議

- ・職員連絡会議

- ・連絡調整会議(地域福祉係) 延べ2回開催(5/27、9/30)

々 (総務経理係) 延べ1回開催(10/27)

- ・管理職会議 延べ3回開催(8/29、12/7、3/16)

②役員・職員研修会

- ・役員研修 ④の役員出張・研修に記載

- ・役員職員研修会 新任職員研修会 令和4年6月1日(水) 10:30～16:25 3名参加

新任職員研修(現場実習)

令和4年7月5～7日(3日間) 社協ふれあいサービス

令和4年7月11日・13日(2日間) 夢ハウス

③役職別、業務・担当別研修会等への参加

- ・職員研修(職種別研修) ⑤の職員出張・研修に記載

- ・自主研修 (町主催) 講演会 11月23日(水) ホール神峰:1名参加

(介支連協) 勉強会 9月20日(火) ハイブリット形式:6名参加

・伝達研修 自主研修の資料を回覧し、伝達を行った。

④役員出張・研修

月 日	出張・研修内容	出張先	担当
2月2日	令和4年度「市町社協会長会議」	広島市 メルパルク広島	有田
2月17日	令和4年度広島県社会福祉協議会「ふれあい基金」運営委員会	広島市 広島県社会福祉会館	有田

⑤職員出張・研修

月 日	出張・研修内容	出張先	担当
4月5日	① 杉田司法書士事務所訪問 ② 雇用保険手続き	竹原市 杉田司法書士事務所 竹原市 ハローワーク竹原	塩飽
4月8日	かけはし利用者入院先訪問	東広島市 真愛病院	波多野
4月13日	① かけはし利用者預かり物受取 ② 法人印鑑証明書発行	東広島市 真愛病院 竹原市 杉田司法書士事務所	塩飽
5月19日	令和4年度第1回広島中央地域保健対策協議会4部会合同会議	オンライン	藤原
6月6日 中止	令和4年度市町被災者生活サポートボランティアネットワーク運営者会議	広島市 広島県社会福祉会館	波多野
6月21日	令和4年度「ひろしま社協活動推進会議」第1回地域福祉担当部会	広島市 広島県社会福祉会館	波多野
6月23日	令和4年度かけはし・法人後見担当者会議	広島市 広島県社会福祉会館	波多野
6月23日	資産総額変更登記手続き	竹原市 杉田司法書士事務所	塩飽
6月23日	令和4年度東広島・竹原地域生活保護受給者等就労自立推進事業協議会	東広島市 広島西条公共職業安定所	塩飽 井上
6月30日	令和4年度市町被災者生活サポートボランティアセンター運営者研修会	広島市 広島県健康福祉センター	波多野
7月1日	瀬戸内イキイキプロジェクト「島を知るワーク」発表会	呉市 広島国際大学	藤原仁
7月6日	令和4年度「ひろしま社協活動推進会議」第1回管理職部会	広島市 広島県社会福祉会館	藤原
7月7日	令和4年度第1回「高齢者・障害者の権利擁護を進めるひろしま社協委員会」	広島市 広島県社会福祉会館	波多野
7月10日	第8回ボランティア交流サミットひろしま	オンライン	波多野
7月27日	社会福祉施設における労働災害防止講習会	三原市 三原労働基準監督署	塩飽

8月2日	令和4年度地域共生社会実現のための地域 支え合いコーディネート機能強化研修	広島市 広島県社会福祉会館	波多野
8月4日	生活福祉資金貸付事業新任担当職員研修	広島市 広島県社会福祉会館	安本
8月5日	第5回 SC カフェ	オンライン	波多野
8月5日	在宅介護者リフレッシュ交流会	世羅郡 世良高原農場	藤原 (仁)
8月8日	令和4年度「ひろしま社協活動推進会議」 第1回総務経理担当部会	広島市 広島県社会福祉会館	塩飽
8月9日	さとやま GOOD プロジェクト SNS 情報発信講座	オンライン	藤原 (仁)
8月23日 中止	令和4年度広島県地域共生社会推進連絡会	広島市 広島県社会福祉会館	波多野
8月19日	家計改善支援事業従事者養成研修 就労支援員・就労準備支援事業従事者養成 研修 自立支援事業従事者養成研修	オンライン	井上
8月24日	同上	オンライン	井上
8月25日	令和4年度市町社協ボランティアセンター 担当者会議	広島市 広島県社会福祉会館	波多野
8月26日	竹原病院入院患者 退院前カンファレンス	オンライン	波多野
8月26日	家計改善支援事業従事者養成研修	オンライン	井上
8月29日	同上	オンライン	井上
9月1日	令和4年度県立広島大学重点研究事業成果 報告会	オンライン	藤原
9月5日	令和4年度福祉サービス利用援助事業 「かけはし」専門員研修	広島市 広島県社会福祉会館	藤原 (仁)
9月12日	令和4年度地域共生社会実現のための地域 支え合いコーディネート機能強化研修	広島市 広島市総合福祉セン ター	波多野
9月28日	生活福祉資金（特例貸付）に係る償還・免 除事務等説明会	オンライン	塩飽
10月4日	第23回中・四国ブロック身体障害者相談員 研修会	広島市 グランドプリンスホ テル広島	波多野

10月12日	令和4年度第2回「高齢者・障害者の権利擁護を進めるひろしま社協委員会」	広島市 広島県社会福祉会館	波多野
10月11日	印鑑証明書取得手続き	竹原市 竹原市役所	塩飽
10月14日	令和4年第一回関係機関合同会議	広島市 広島県社会福祉会館	塩飽 井上
10月27日	第60回広島身体障害者福祉大会	福山市 福山市神辺文化会館	波多野
10月31日	令和4年度社協の役割を見つめ直すテーブルセミナー	広島市 広島県社会福祉会館	波多野 井上
11月18日	令和4年度「ひろしま社協活動推進会議」第2回総務経理担当部会	広島市 広島県社会福祉会館	塩飽
11月21日	印鑑証明書取得手続	竹原市 竹原市役所	塩飽
11月25日	令和4年度第3回精神障害者地域生活支援検討会	オンライン	波多野
8月25日～ 9月15日	就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修	オンライン	井上
9月1、2日	家計改善事業従事者養成研修	オンライン	井上
10月4日 ～21日	自立相談支援事業従事者養成研修	オンライン	井上
12月9日	令和4年度キャリア別社協職員研修[事務局長](第2回ひろしま社協活動推進会議管理職部会)	広島市 広島県社会福祉会館	藤原
12月9日	令和4年度福祉サービス利用援助事業「かけはし」生活支援員等養成研修 1日目	オンライン	藤原仁 宮本 塩飽敏 瀬尾 沖本
12月16日	令和4年度広島県社会福祉法人経営者協議会BCP研修	広島市 TKPガーデンシティPREMIUM	藤原
1月11日	令和4年度生活困窮者自立支援事業担当者会議	広島市 広島県健康福祉センター	塩飽
1月18日	令和4年度地域生活支援を進める専門職研修①	広島市 広島県健康福祉センター	塩飽
1月19、 20日	生活困窮者自立支援制度中国・四国ブロック研修	オンライン	井上

1月26日	生活困窮者自立支援事業従事者養成研修 テーマ別研修	広島市 広島県庁	井上
1月27日	令和4年度福祉サービス利用援助事業「かけはし」生活支援員等養成研修 2日目	オンライン	波多野 宮本 塩飽敏
1月30日	江田島市中核機関立ち上げ視察研修会	呉市 広島地方裁判所呉支部	波多野
2月6日	令和4年度自殺対策人材育成研修	オンライン	井上
2月8日	かけはし利用者 入所先訪問	竹原市 介護老人保健施設ま お	波多野
2月8日	法人印鑑証明書取得手続き	竹原市 竹原市役所	安本
2月14日	令和4年度地域生活支援を進める専門職研修②	広島市 広島県健康福祉センター	塩飽
2月16日	令和4年度「ひろしま社協活動推進会議」 第3回総務経理担当部会	広島市 広島県社会福祉会館	塩飽
2月28日	令和4年度第2回関係者合同会議	広島市 広島県健康福祉センター	塩飽 井上
3月1日	令和4年度中核機関体制整備に向けた市町 研修会	呉市 呉市福祉会館	波多野
3月2日	令和4年度市町社協事務局長会議（「ひろ しま社協活動推進会議」第3回管理職部会）	広島市 広島県社会福祉会館	藤原
3月3日	令和4年度「ひろしま社協活動推進」第3 回地域福祉部会	オンライン	波多野
3月6日	令和4年度第2回広島県生活支援コーデ ィネーター育成研修・情報交換会	オンライン	波多野
3月7日	令和4年度市町被災者生活サポートボラン ティアセンター運営者研修	オンライン	波多野
3月5日 ～9日	令和4年度社会福祉主事資格認定通信課程	神奈川県 中央福祉学院「ロフォス湘南」	井上
3月8日	令和4年度成年後見制度実務者研修	オンライン	波多野
3月8日	令和4年度かけはし・法人後担当者会議	オンライン	波多野
3月9日	令和4年度広島国際大学瀬戸内イキイキプ ロジェクト活動報告会・2022年度振り返り	呉市 広島国際大学	藤原 (仁)
3月17日	令和4年度広島県生活支援体制整備におけ る多機関合同圏域別意見交換会	オンライン	波多野

3月23日	広島県被災者生活サポートボラネット推進 会議 IT支援力強化部会	オンライン	波多野
-------	-------------------------------------	-------	-----

(4) 法務に関する業務

・資産総額の変更登記 令和4年6月23日(木)

(5) 保健福祉センター管理受託事業

木江保健福祉センター及び東野保健福祉センターを次のとおり管理受託した。

町の保健事業をはじめ、各種団体の会議や定例会、サロンや子育て支援(きらきらランド)等また、社協ふれあいサービス事業の会場として幅広く使用された。

非常勤パート職員を時間雇用し、センター内部や周辺の施設清掃を行った。

①木江保健福祉センター利用者数

相談室1	診療室	調理室	機能訓練室	和室	合計
427名	42名	464名	2,185名	554名	3,672名

〈3,235名〉

消防署の立入検査 実施なし

消防訓練の実施 令和4年12月19日(月) 参加者:10名

②東野保健福祉センター利用者数

相談室	調理室	保健指導室	機能訓練室	診察室	リラクゼーションルーム	多目的室	合計
1,058名	813名	5,596名	7,493名	658名	1,479名	1,079名	18,176名

〈30,413名〉

消防署の立入検査 令和4年11月28日(月) 結果:良好

消防訓練の実施 令和4年12月23日(金) 参加者:3名

(6) 第4次地域福祉活動計画の進捗管理

令和3年度に策定した「第4次地域福祉活動計画(令和4年度～令和8年度)」の進捗管理を行った。

(7) 県立広島大学との連携

令和2年度、令和3年度に引き続き、重点研究事業「地域課題解決研究」へ応募し、提案した研究課題が採択された。今年度は令和4年12月19日に、高齢者の生活支援・介護予防サービスの多様な提供主体間の情報共有及び体制整備を推進するために設置された大崎上島町支え合う地域づくり協議体で令和2年度から進めている重点研究事業の調査結果、内容について説明した。令和5年度以降は調査結果(成果)を活用し、「本町の高齢者が安心して暮らし続けるための持続可能な地域包括ケアシステム」構築に向けて取り組んでいただく。

2. 地域福祉活動推進部門

(1) 小地域福祉活動推進事業

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大により、地域づくり会議の開催ができなかったが、大田区において行政総務課と一緒に、自主防災組織の取り組みで、地域の避難について協議する研修会を開催し、区独自の避難行動の仕組みについて協議できた。

(2) 生活支援体制づくり

- ①「支え合う地域づくり協議体委員会」を年1回開催し、県立広島大学の金子努先生を講師に、大崎上島町の高齢者を取り巻く環境について、調査結果をもとに研修会を行った。
- ②地域包括支援センターとともに、地域の社会資源について情報更新を行い、大崎上島町介護支援専門員協議会の中で、情報更新の新たな仕組みづくりについて協議した。

(3) 住民、当事者、社会福祉事業関係者の連絡調整

①各関係機関との連携

行政（地域自立支援協議会、わかばの会等）の会議や定例会へ出席し、連携を図った。

特にわかばの会の定例会に出席し、過疎離島における多様な発達を支援するプログラム事業に携わるボランティアの発掘について、赤い羽根ボランティアスクールを通して呼びかけを行った。

②住民組織代表者（区長会、民児協等）への事業説明や会議への参加

3地区（東野、大崎、木江）の区長会に出席し、事業説明と協力をお願いした。

大崎上島町民生委員児童委員協議会定例会（4月）に出席し、事業説明と協力をお願いした。さらに、定例会（6月）に出席し、福祉委員制度について説明した。定例会（8月）に出席し、各種貸付事業について説明した。

地域包括ネットワーク会議、地域包括・在宅介護支援センター情報交換会に出席し、社会資源を活かした個別ケースへの助言を行い、地域の皆さんや事業関係者と連携を図った。【包括：再掲】

(4) ボランティア活動や地域福祉活動の推進・支援

①新たな人材確保のための地域応援隊（かみじまネット・外出支援・サロン・巡回相談員）きっかけ講座の開催

- ・赤い羽根ボランティアスクール（障がい児支援）の開催。

<第1回> 開催日：令和4年12月2日（金）19：30～21：00

内容：講演会「オンライン会議アプリ Zoom の使い方講習会」

講師：波多野 学

<第2回> 開催日：令和4年12月12日（月）19：30～21：00

内容：講演会「私たちの願い…この町で ～ 社会実験事業の実施から～」

講師：松浦 真英 氏（清光寺 住職）

<第3回> 開催日：令和4年12月23日（金）19：30～21：00

内容：講演会「発達(多様性のある)を理解するために」

講師：元山 淳 氏（国立病院機構 賀茂精神医療センター 児童指導員）

開催方法：オンライン会議 Zoom

収録場所：社協本所

参加者：①10名（すべて夜間開催）

- ・運転協力員育成事業（福祉有償運転者講習会）

<第1回> 開催日：令和4年6月4日～6月5日 参加者：1名

<第2回> 開催日：令和4年10月15日～10月16日 参加者：3名

②既存の地域応援隊のための活動別交流研修会、合同研修会の開催

- ・サロン協力員連絡会

開催日：令和5年2月7日 場所：大崎開発総合センター 参加者：24名

③介護支援ボランティア事業

高齢者の社会参加の場の拡充を目的に、65歳以上で介護保険の要介護認定を受けていない方を対象に、町内の福祉施設でのボランティア活動を行う。

- ・協力事業所間会議

開催日：令和5年2月3日（金）

場所：木江保健福祉センター（Zoom）

参加事業所：4事業所

内容：コロナ禍の新たなボランティア活動について、ボランティアへの情報提供方法について協議を行った。

- ・介護支援ボランティア協力員研修会

開催日：令和5年3月30日（木）

場所：木江保健福祉センター

参加者：20名

内容：上記協力事業所間会議の内容を元に、協力員と事業所間で情報交換、協議を行った。

④大崎上島町被災者生活サポートボラネット推進事業

- ・被災者生活サポートボラネット運営者研修会

開催日：令和4年7月10日（日）

場所：木江保健福祉センター和室 参加者：5名

内容：新たな災害ボランティアセンターの機能について、ボラサミットを研修に替えて実施した。

⑤寄り添いパートナー

新たな活動について協議を進める予定だったが、活動含め、研修会の開催もできていない。在宅での看取り支援を主に、活動の整理が必要である。

⑥多世代交流の支援

大崎海星高校の3年生とよってみんさい屋中野で高校生と高齢者との活動交流会を年3回行い、お互いに楽しい活動づくりについて、協議を重ねた。また、その取り組みが、全国の高校生が競う全国マイプロジェクトアワードにおいて広島県代表として発表が行われ、その模様を大崎片浜区にあるミカタカフェにおいてパブリックビューイングとして行い、関わっていない地域住民の皆さんにも活動を観ていただいた。

（5）ふれあいいいききサロン等の活動支援

①ふれあいサロン事業

誰もが気軽に立ち寄れる場として、閉じこもりの予防や認知症予防のためのプログラム等を利用者と協力者とで実施した。概ね、各会場で月1回～2回開催した。

- ・地区サロン開催状況

	サロン名	実施場所	回数	協力者数	参加者数
【木	岩白サロン	岩白会館	12	53	73
	宇浜サロン	宇浜地区集会所	11	20	141
	郷サロン	木江会館	6	29	125

	天満サロン	天満会館	11	62	106
	野賀サロン	天寿会館 木江保健福祉センター	11	76	88
	木江サロン	木江保健福祉センター	1	4	40
	上の谷サロン	上の谷会館	9	35	47
	沖浦サロン	沖浦漁村センター	21	77	166
	明石サロン	明石会館	28	94	266
【東野】	外表サロン	外表集会所	12	46	183
	鮎崎サロン	鮎崎集会所	12	12	166
	垂水サロン	垂水集会所	1	4	21
	古江サロン	古江集会所	5	31	102
	小原サロン	小原集会所	8	31	96
	大田サロン	大田集会所	10	24	67
【大崎】	山尻サロン	山尻集会所	12	4	140
	東原下サロン	東原下集会所	5	22	61
	原下サロン	原下集会所	12	52	376
	片浜サロン	片浜集会所	5	28	76
	本郷サロン	本郷集会所	7	51	82
	向山サロン	ふれあいホール	11	2	100
	大西サロン	大西集会所	5	35	101
	原田サロン	西野公民館	10	51	174
	大串サロン	大串集会所	11	0	123
合 計			236	843	2924

〈170回 625名 2,123名〉

②よってみんなさい屋（小地域型サロン）事業

空き家を利用し、地域協力員が主体となり「おしゃべりがごちそう」を目的に小地域サロンを開催した。

開催回数 よってみんなさい屋中野 47回 毎週火曜日開催

よってみんなさい屋大串 73回 毎週火・金曜日開催

スタッフ 延べ 333名（中野：94名・大串：239名）

利用者 延べ1,303名（中野：632名・大串：671名）

内 容

- ・在宅看護師による健康相談（月1回）
- ・円山忠信先生による健康セミナー（年4回）
- ・作品展示、絵手紙 ・砂かけ地蔵まつり
- ・作品づくり、展示（大崎郵便局など） ・園児との定期交流会
- ・定期食事会・音楽 など

（6）住民参画型在宅福祉サービス「かみじまネット」事業の充実

かみじまネット事業

暮らしの中でちょっとした困りごとのある人（利用者）と、ちょっとしたことならお手伝

いができる人（協力者）が支え合い、助けあう互助活動を行った。

利用内訳と総数

活 動 内 容	利 用 回 数
通院の付き添い	132回 〈100回〉
掃除の手伝い	1回 〈 4回〉
合 計	133回 〈114回〉

登録協力員： 76名 〈74名〉

（7）障害児者福祉サービスの推進

地域自立支援協議会の定例会へ月1回出席し、障害のある方への支援体制について協議した。また、わかばの会に賛助会員として、定例会に出席したことや、手をつなぐ育成会主催の福祉大会を大崎開発総合センターでZoomを使用して一人でも多くの方が参加できるよう準備を支援した。さらには、過疎離島における多様な発達を支援するプログラム事業への支援を行った。

（8）福祉教育・啓発活動

①広報活動

- ・社協だより発行（No.228～No.239）

地域福祉活動を中心とした事業の普及啓発を図るため、毎月社協だよりを発刊し、広報活動を行った。また、各事業においては随時案内を行い、住民への啓発に努めた。

- ・ホームページ（<http://www.syakyo.net/>）

大崎上島町社会福祉協議会のホームページにて、事業概要や社協だより（PDFファイル）を掲載し、町内および町外へ発信を行った。

②第11回「大崎上島町ふくしのまちづくりのつどい」 開催事業

大崎上島町・大崎上島町老人クラブ連合会との共催により実施した。

開催日 令和4年11月3日（木） 13：30～15：30

場 所 大崎上島文化センター ホール神峰 参加者：172名

内 容 ・第1部 式典 感謝状贈呈（対象者：14名）

・第2部 講演及び寸劇

テーマ「自分のそばにある将来に備える安心へのヒント」

講師：またに社会福祉士事務所 松谷 恵子 氏

演者：社協職員及び関係機関の皆さま

時間：90分

③地域リーダー研修会

開催日 令和4年7月13日（水） 18：30～20：00

場 所 大崎上島文化センター ホール神峰 参加者：102名

内 容

1) パネルディスカッション

テーマ：「大切な気づきから始まる支援」～地域も専門職も相互につながろう～
<パネリスト>

大崎上島町生活サポートセンターIらんど 土本 洋子 氏

在宅介護支援センターおおさき 西 愛 氏

地域包括支援センター 川上 慎司 氏

<ファシリテーター>

大崎上島町社会福祉協議会 地域福祉係 波多野 学
2) 説明 会員会費の募集について 総務経理係 塩飽 篤司

④福祉協力指定校事業（共同募金配分事業）

認定こども園ひかりえん、大崎上島幼稚園、大崎小学校、東野小学校、木江小学校、大崎上島中学校、大崎海星高等学校、広島叡智学園中学校の8校を「社会福祉協力校」に指定し、地域の高齢者・障害者の方々との交流や、ボランティア活動など、地域の特性を活かした福祉活動へ助成を行ったが、各校新型コロナウイルス感染症拡大防止から、活動を縮小や中止されていたところもあり、助成金の返金もあった。

⑤福祉教育「木江小学校3年生との福祉出前講座の実施」

年間を通じて「総合的な学習の時間」の中で、大崎荘にもご協力をいただき、福祉出前講座を実施し、その後、まとめとして児童が企画した沖浦サロンとの交流会を支援した。

(9) 当事者組織・団体、社会福祉関係団体の支援

①老人クラブの育成援助

- ・大崎上島町老人クラブ連合会事務局
- ・単位老人クラブの育成支援

【介護予防健康増進事業】

ア) 高齢者スポーツ大会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

イ) グラウンド・ゴルフ大会

- ・第25回グラウンド・ゴルフ大会

開催日 令和4年6月29日(水)

開催場所 シーパーク大串

参加人数 102名（*今回の大会は、新型コロナウイルスの感染防止対策として、
1単位老人クラブから1チーム以内の参加とした）

- ・第26回グラウンド・ゴルフ大会

開催日 令和4年10月13日(木)

開催場所 シーパーク大串

参加人数 102名（*今回の大会は、新型コロナウイルスの感染防止対策として、
1単位老人クラブから1チーム以内の参加とした）

ウ) 野外研修活動事業

開催日 令和4年11月17日(木)

研修先 広島中央エコパーク

参加者 34名

エ) 高齢者総合教室

- ・コーヒー教室

開催日/場所 令和5年2月20日(月) / 東野保健福祉センター 36名

- ・寄せ植え教室

開催日/場所 令和5年2月22日(水) / 東野保健福祉センター 39名

【地域活動研修会】

ア) 東野地区地域活動研修会

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

イ) 木江地区地域活動研修会

開催日 令和5年2月27日(月)

場 所 木江保健福祉センター

研 修 「ケアニン Short Film」短編作品上映会

交流会 「スポーツウェルネス吹矢について」

講師：日本スポーツウェルネス吹矢協会 広島県協会会長 小池修司 氏

参加者 24名

ウ) 大崎地区地域活動

内 容 平和塔清掃活動

参加者 延べ 168名

実施期間 令和4年4月～令和5年3月

②障害者団体の育成援助

- ・大崎上島町身体障害者福祉協議会事務局
- ・障害者スポーツ大会の開催
- ・わかばの会活動支援(定例会、総会への出席、事務的な処理についての相談・支援)

③大崎上島町遺族会連合会事務局

④日本赤十字社事業への協力

- ・日本赤十字社広島県支部大崎上島町分区事務局

ア) 出張・研修

月 日	出張・研修内容	出張先	担当
6月6日	令和4年度 第1回広島県赤十字奉仕団委員長会議	広島市 日本赤十字社広島県支部	藤原(仁) 高橋
10月31日	令和4年度 第1回日本赤十字社広島県支部地区本部・地区・分区担当者会議	オンライン	藤原(仁)
2月24日	令和4年度 第2回日本赤十字社広島県支部地区本部・地区・分区担当者会議	オンライン	藤原(仁)

イ) 日本赤十字社 活動資金募集活動

赤十字運動月間5月

地 区	活動資金実績額(円)
木江地区	400,500円 <397,500円>
東野地区	389,500円 <387,500円>
大崎地区	692,500円 <701,000円>
合 計	1,482,000円 <1,517,000円>

⑤共同募金運動への協力

- ・大崎上島町共同募金委員会事務局

ア) 出張・研修

月 日	出張・研修内容	出張先	担当
-----	---------	-----	----

6月17日	広島県共同募金会 第186回評議員会	オンライン	藤原
7月29日	都道府県共同募金会 災害時支援基礎研修	オンライン	藤原(仁)
8月30日	令和4年度 共同募金委員会業務推進会議	広島市 広島県社会福祉会館	藤原(仁)
3月7日	広島県共同募金会 第187回評議員会	オンライン	藤原

イ) 共同募金実績(募金運動月間:10月1日~3月31日)

募金種類	実績額
戸別募金	1,460,500円 <1,476,500円>
法人・事業所募金	553,500円 <574,000円>
学校募金	83,272円 <108,451円>
職域募金	261,000円 <317,800円>
店頭募金	243,375円 <154,899円>
合計	2,608,847円 <2,623,850円>

(10) 地域包括支援センターの受託経営【包括:再掲】

(11) 地域福祉財源の造成、助成事業

① 会員会費の募集状況

(木江地区)

会員別	加入者数(名)	会費収入額(円)
一般	696 <702>	696,000 <702,000>
賛助	115 <116>	345,000 <348,000>
合計	811 <818>	1,041,000 <1,050,000>

(大崎地区)

会員別	加入者数(名)	会費収入額(円)
一般	1,225 <1,264>	1,225,000 <1,264,000>
賛助	99 <101>	318,000 <317,000>
合計	1,324 <1,365>	1,543,000 <1,581,000>

(東野地区)

会員別	加入者数(名)	会費収入額(円)
一般	696 <703>	696,000 <703,000>
賛助	128 <143>	440,000 <488,000>
合計	824 <846>	1,136,000 <1,191,000>

(合計)

会員別	加入者数(名)	会費収入額(円)
一般	2,617 <2,669>	2,617,000 <2,669,000>
賛助	342 <360>	1,103,000 <1,153,000>

合 計	2,959 〈3,029〉	3,720,000 〈3,822,000〉
-----	---------------	-----------------------

②寄付金受納状況

寄付種別	寄付件数（件）	寄付受納額（円）
香典返し	50 〈36〉	1,420,000 〈1,337,000〉
生前のお礼	62 〈68〉	2,913,000 〈1,925,000〉
一般寄付	41 〈37〉	631,563 〈538,000〉
合 計	153 〈141〉	4,964,563 〈3,800,000〉

3. 福祉サービス利用支援部門

(1) 地域総合相談事業

①（介護、障害、子ども、困窮）総合相談会【生活困窮者自立支援事業：再掲】

②地域包括支援ネットワーク会議【包括：再掲】

(2) 権利擁護事業

①法人後見事業

成年後見制度の仕組み理解や、行政、家庭裁判所呉支部との連携強化のために、家庭裁判所主催の研修会、会議へ出席した。また、福祉課担当課との中核機関設置に向けた協議を進め、令和5年度中に予算化、令和6年度中核機関の事業実施に向けた準備を進めることになった。

②日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業「かけはし」）

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などで判断能力が不十分な人などを対象に、福祉サービスや日常生活のさまざまな契約の手続き、日常的な金銭管理や預金通帳の預かりなどの支援を行った。

ア 支援回数

月	利用登録者	生活支援員 支援回数	職員対応 支援回数	計
4	27名	12回	57回	69回
5	26名	15回	51回	66回
6	26名	17回	43回	60回
7	26名	16回	31回	47回
8	26名	21回	57回	78回
9	27名	23回	35回	58回
10	26名	18回	32回	50回
11	26名	20回	39回	59回
12	26名	17回	53回	70回
1	26名	14回	39回	53回
2	26名	10回	35回	45回
3	24名	4回	50回	54回
計	312名	187回	522回	709回

イ 新規利用契約締結者数 3名〈3〉

ウ 利用終了者数 5名〈2〉

(3) 生活困窮者自立支援事業（くらしの相談支援室）

経済的自立を目的とし複合的な課題に向き合いその人なりの自立をめざし、自己肯定感や自尊感情を確保できるよう寄り添った支援に務めた。

①くらしの相談会：介護、障害、子ども、困窮の総合相談会として年3回開催した。

②令和4年度 新規相談受付件数と継続支援回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	1	1	0	0	2	3	0	1	0	0	1	2	11
継続	10	11	7	5	22	34	24	27	14	20	10	22	206

(4) 資金貸付事業

①生活福祉資金貸付事業 貸付件数 15件〈19〉

貸付金額（償還金残高） 3,982,530円〈5,445,000円〉

※すべて新型コロナ特例貸付による貸付

②高額療養費貸付事業 貸付件数 1件〈2〉

③民生資金貸付事業 貸付件数 13件〈6〉

貸付金額 696,000円〈210,000円〉

償還金残高 458,000円〈70,000円〉

滞納件数 1件 滞納金額 43,000円〈45,000円〉

(5) 災害見舞金支給事業

・該当なし

(6) 緊急用食料品等給付事業

・0件

(7) フード・マッチング事業

・3件

4. 在宅福祉活動推進部門

(1) 居宅介護支援事業（大崎上島町社協居宅介護支援事業所）

①ケアプランの作成

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネジャー（介護支援専門員：2名配置）が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望に沿って、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成し、ケアプランに位置付けたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行った。

また、プランによるサービス実施状況の把握、サービス提供効果の評価などを行い、その状況を保険者（国保連）に報告し、介護保険料の請求を行った。

ケアプラン作成数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
55	53	57	58	57	56	61	59	64	62	59	60	701

②介護認定訪問調査

要介護認定申請（新規を除く。）に伴う要介護認定調査を町から受託し、申請者の状態を把握するため「能力」「介助の方法」「障害や現象（行動）の有無」について訪問し、調査

を行った。

介護認定調査実績

依頼元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大崎上島町	7	2	2	6	4	8	6	6	6	7	5	5	64
その他市町村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③出張・研修

担当している利用者の入院先や入所先と入退院や在宅復帰を円滑に行うために入退院前・退所前カンファレンスへ参加した。また、利用者により良い介護支援サービスの提供が行えるよう、専門職としての知識や質を向上させるために介護保険制度や居宅介護支援に係る研修へ参加した。

月 日	出張・研修内容	出張先	担当
6月24日	退院前カンファレンス	竹原市 安田病院	泉
8月5日	在宅介護者リフレッシュ交流会	世羅郡 世良高原農場	泉
9月27日	退院前カンファレンス	竹原市 安田病院	泉
1月11日	退院前カンファレンス	三原市 三原城町病院	泉
3月15日	退院前カンファレンス	呉市 呉医療センター	金原
3月31日	外出支援サービス 受診同行	呉市 呉医療センター	泉

④サービス担当者会議

利用者ごとに介護支援専門員はケアプラン原案を作成し、サービス調整を行った後、利用者や利用者家族、提供されるサービス事業者の担当者を集めてケアプランの内容を検討する会議を開催した。このサービス担当者会議は、利用者の状態像の変化などによる、ケアプランを変更する際にも開催した。

⑤介護サービス情報の公表

介護サービスを行っている事業者に対して介護サービス情報の公表が義務付けられている。この制度は、介護サービス事業者が自らの責任において介護サービス情報を県に報告し、報告された情報を県が公表することにより、利用者やその家族などが公表された情報を活用して、自ら介護サービス事業者を適正に選択することができるように支援するための仕組みとして介護保険法に定められており、公表制度を通じ介護サービス事業者が利用者の支持を得られるよう、サービスの質の改善への取り組み、サービス全体の質の向上を図ることを目的に本会事業所の情報も公表した。

(2) 在宅介護者家族会の支援

介護を担う家族が3か月に1回のペースで集まり、家族としての思いや悩みを共有したり、

日頃の在宅介護の状況を話したり、知識や知恵、あるいは地域の様々な情報を交換することで、介護に向かうエネルギーを得る地域の介護仲間同士の支え合いの場となるよう開催を支援した。

活動報告

月 日	内 容	場 所	参加者
4月15日	令和3年度報告、4年度活動計画	大崎すまいる一む	4名
7月15日	コロナ感染拡大防止、熱中症予防	大崎すまいる一む	4名
8月5日	リフレッシュ交流会	世羅高原	8名
10月21日	交流事業	大崎すまいる一む	5名
1月20日	コロナ島内感染状況について	大崎すまいる一む	4名

(3) 社協ふれあいサービス事業

閉じこもり予防を目的とし、介護保険非該当者（自立高齢者）を対象に「できるだけ自分のことは自分で」の自立生活の助長を目的とした介護予防事業を実施した。

実施場所：東野保健福祉センター 利用申請（登録）者：42名

サービス内容及び参加延人数

内 容	人 数（名）
健康チェック	1,733名 〈1,566〉
生活指導	1,733名 〈1,566〉
昼 食	1,732名 〈1,468〉
送 迎	1,708名 〈1,561〉

主な行事及び企画行事

実施月	行事・グループワーク	作品づくり	介護予防活動
4月	お花見（ドライブ）	カレンダー作り （折り紙でアジサイ）	
5月	前年度の健康管理表 配布		脳トレ（ことばレストランと梅雨穴埋め）
6月	輪投げ（昔風）		脳トレ （電気製品何がある？）
7月	スカットボール	壁画（折り紙 海の生き物） 海の生き物（個人用作成）	熱中症について
8月	ポケットボール		コロナウイルスについて
9月	輪投げ	カレンダー作り （折り紙 リス・だるま）	頭の体操（都道府県の名前） 秋の歌集

10月	室内グラウンドゴルフ	落ち葉のこすり出し	脳トレ 数字の紐通し
11月	ミニうどん会		手をたたいて3文字ことば
12月	クリスマス会 (ハンドベル演奏・クリスマス川柳など)	クリスマスカード作り	コロナウイルス予防 インフルエンザ予防について ヒートショックに注意
1月	バグゲーゲーム		
2月		お雛さま作り	
3月	ポケットボール		

(4) 生野島出前ミニデイサービス事業

離島、超高齢者地域のため、地域住民主体でのサロン開催は難しく、調理員兼送迎員、保健指導員の派遣によりミニデイサービス事業を開催した。

対 象 者 生野島地区在住の高齢者
場 所 生野島老人集会所
回 数 24回 〈18回〉
参加者延数 49名 〈52名〉

(5) 認知症高齢者コミュニティ・ケア「夢ハウス」事業

空き家を利用して、小人数で昔ながらの遊びや行事を取り入れながら、認知症高齢者のデイサービス事業を行った。

実施月	利用者数	開催日数	備考(活動)
4月	29名	8日	花見ドライブ 散歩 歌 おやつ作り ぬり絵など
5月	28名	8日	原下庚申堂ドライブ 散歩 百歳体操 歌 柏餅作り ぬり絵・折り紙 誕生会 ゲーム 談話など
6月	24名	9日	庚申堂ドライブ 散歩 百歳体操 歌 七夕飾り・短冊書き 談話など
7月	22名	7日	散歩 百歳体操 歌 しばもち作り 七夕飾り ちぎり絵 色紙細かくちぎる 塗り絵 折り紙など
8月	24名	8日	散歩又庚申堂お参りドライブ 歌 誕生日会 ぬり絵 ちぎり絵 折り紙 うちわ作り ふきん縫いなど
9月	22名	7日	ドライブ 百歳体操 散歩 歌 誕生日会 ぬり絵 おはぎ作り ふきん作りなど
10月	25名	8日	散歩 百歳体操 歌 折り紙 進水式 書き方練習 いもだんご作り 茶の葉を袋づめ手伝い ボーリング 色紙わか作り 談話など
11月	27名	8日	神峰山・長島・親水公園紅葉ドライブ 散歩 歌 百歳体操 ぬり絵 いもだんご作り 談話など

12月	21名	7日	ドライブ 散歩 百歳体操 歌 餅つき クリスマス会 ぬり絵 折り紙 談話など
1月	21名	7日	ドライブ 散歩 八幡神社初詣 歌 ぬり絵 折り紙 節分のお面作り 談話など
2月	30名	8日	散歩 歌 ぬり絵 折り紙 節分の豆まき おやつ作り 談話など
3月	42名	9日	散歩 百歳体操 歌 ひな祭り おやつ作り 本読み 紙ふうせん投げ 東野海と島の歴史資料館 談話など
合計	315名	94日	

〈 228名 67日〉

(6) 外出支援サービス事業

令和4年度 外出支援延日数：604日

外出支援協力員登録者数：58名（令和5年3月31日現在）

利用実績

介護保険該当者や障害者（行政に利用申請、許可が必要）の通院の送迎を行った。

区 分	延 回 数
通院（町内）	1,632回 〈1,632〉
通院（町外）	462回 〈434〉
合 計	2,094回 〈2,066〉

(7) 高齢者巡回相談員派遣事業

大崎上島町に在住する70歳以上のひとり暮らし、または高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯で、日常生活上の援助が必要な世帯に対して、高齢者巡回相談員（45名を配置）が訪問活動を行った。

① 高齢者世帯等訪問活動実績（概ね週1回訪問）

地 区 名	ひとり暮らし世帯 訪問延回数	ふたり暮らし世帯 訪問延回数
木江地区	8,683回 〈8,379回〉	4,417回 〈4,560回〉
大崎地区	6,799回 〈7,623回〉	4,221回 〈4,209回〉
東野地区	5,395回 〈6,182回〉	3,167回 〈4,220回〉
合 計	20,877回 〈22,184回〉	11,805回 〈12,989回〉

② 高齢者巡回相談員連絡会

・ 高齢者巡回相談員研修会

（第1回）開催日：令和4年11月16日

場 所：大崎上島開発総合センター 大会議室 参加者：33名

テーマ：「予約型おと姫バスの実証運行について」

講 師：大崎上島町企画課 末廣大樹様・富士通 Japan 株式会社 上坂晃慎様

（第2回）新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、3日に分けて開催した。

開催日：令和5年3月13日 場所：東野保健福祉センター 参加者：5名

令和5年3月14日 場所：木江保健福祉センター 参加者：13名

令和5年3月15日 場所：大崎老人福祉センター 参加者：11名

③区長・民生委員・高齢者巡回相談員合同研修会

<木江地区> 日時：令和5年2月6日(月) 13:30～15:30

場所：木江保健福祉センター 機能訓練室

<東野地区> 日時：令和5年2月9日(木) 14:15～16:15

場所：東野文化センター 大ホール

<大崎地区> 日時：令和5年2月10日(金) 13:30～15:30

場所：大崎開発総合センター 大会議室

<内容> 役員交代時における各区の引継ぎについて、各区のやり方を共有

また、相談援助職と3者の顔の見える関係の構築や、連携の取り方について話し合った。

④緊急れんらくばんの作成、設置

利用者世帯ごとに利用者の同意を得、緊急時の連絡先やかかりつけ医などを記入した緊急連絡カードを作成し、世帯に配布するとともに事務局にて保管。緊急時には情報を提供できるよう整備を行った。

⑤避難行動要支援者支援制度に基づく避難行動要支援者リストの更新支援

(8) 介護予防（健康教室開催）事業

- ① 健康体操教室 延回数：44回 延人数：917名
- ② ストレッチ大崎教室 延回数：47回 延人数：841名
- ③ ストレッチ木江教室 延回数：49回 延人数：525名

(9) 福祉機器貸出事業

在宅介護者への介護器具貸出状況

介護器具名	所有台数	貸出延件数	介護器具名	所有台数	貸出延件数
電動ベッド	30	12	シャワーチェア	6	4
車椅子	34	61	バスグリップ	2	1
サイドテーブル	1	3	ハンデイスロープ	4	10
歩行補助器	4	4	チャイルドシート	11	8
ポータブルトイレ	8	10	ジュニアシート	10	0
ロンボケアマット	2	1	松葉杖	1	3
ストレッチャー	1	0	シルバーカー	4	2
浴そう台	4	3	福祉車両	11	90
セニアカー	1	2	合計		214

(10) 生きがい活動（健康増進）事業

①認知症予防教室「音楽とぬり絵を楽しむ会」

開催回数：10回（毎月第3木曜日）

参加者延数：79名（67名）

開催場所：木江保健福祉センター

内容：ラジオ体操、音読、計算、書き取り、歌、ぬり絵。

②卓球教室 延回数：37回 延人数：135名

5. その他

(1) フェリー乗船券取り扱い事業

①木江本所取り扱い数

	種 別	枚 数	取 扱 額	備 考
竹 原	4 m未満	9,895 枚	15,733,050 円	
	5 m未満	3,930 枚	8,410,200 円	
安芸津	4 m未満	2,190 枚	3,482,100 円	
	5 m未満	516 枚	1,104,240 円	
合 計		16,531 枚	28,729,590 円	

※原資 536,000 円

※令和5年3月31日 現金(預り金) 474,260 円

②大崎支所取り扱い数

	種 別	枚 数	取 扱 額	備 考
竹 原	4 m未満	40,166 枚	63,863,940 円	
	5 m未満	13,278 枚	28,414,920 円	
安芸津	4 m未満	16,467 枚	26,182,530 円	
	5 m未満	5,366 枚	11,483,240 円	
合 計		75,277 枚	129,944,630 円	

※原資 1,000,000 円

※令和5年3月31日 現金(預り金) 393,460 円

※令和4年度 取扱金額 158,674,220 円

〈令和3年度 取扱金額 137,346,060 円〉

令和4年度 大崎上島町地域包括支援センター 事業報告

事業の目的

高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、要介護（支援）状態とならないよう予防に努めた。そして、要介護状態等や認知症になっても住み慣れた環境の下で、可能な限り、自立した日常生活が継続できるように取り組んだ。

また、高齢化が高い水準で続くなか、認知症の人の介護負担増加や、認知症のため在宅生活を継続していくことが困難となっているケースが増えていることを踏まえ、認知症への理解を深めるための普及・啓発を行政と連携しながら、認知症の人や家族の支援につながるよう重点的に事業へ取り組んだ。

テーマ	実施方法	実施回数
認知症への理解を深めるための普及・啓発	社協だよりによる広報	4回
	ふれあいサロン実施会場に出向いて啓発	3回
	認知症の人と家族の会	12回

基本事業

1. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援事業

①来所、電話、訪問等による様々な相談に応じ、適切な機関や制度及びサービスにつなぎ、継続的にフォローを行った。高齢者をはじめ、障害者、地域住民からの相談に対し、専門性を生かし、課題解決に向けて取り組んだ。

【相談実績（相談形態別）】

電話・メール	来所	訪問	その他	計
163	56	26	15	260

(令和3年度相談件数計 300件)

【相談実績（相談者区別）】

本人	家族	知人	関係機関	その他	計
26	92	15	119	8	260

【相談実績（相談内容区分別）】

介護・日常生活に関する相談	サービス利用に関する相談	医療に関する相談	所得・家庭生活に関する相談	その他	苦情相談	権利擁護に関する相談	計
94	203	19	4	5	0	4	329

【対応実績】

相談	情報提供	連絡・調整	家庭訪問	取次・斡旋	申請(代行)	確認・聞取り	実態把握	その他	計
38	167	240	263	67	169	182	111	2	1,239

②高齢者の見守り活動を実施している関係機関との連携

大崎上島町民生委員児童委員協議会定例会（4月8日）にて、包括支援センターの活動と役

割について説明を行った。

③地域の高齢者の実態把握と相談支援

④社協だより等を活用した業務内容等の広報活動

町民全体への啓発として、社協が毎月発行する「社協だより」へ包括支援センターのページを
設け、広報活動に努めた。

(2) 権利擁護事業

①成年後見制度の活用促進

②老人福祉施設等への措置の支援

③高齢者虐待への対応

④困難事例への対応

⑤消費者被害の防止及び対応

⑥専門機関（司法書士会、社会福祉会等）との連携強化

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

①関係機関との連携強化を図る地域包括支援ネットワーク会議の開催

保健、福祉の専門職を中心に、地域課題の共有、事例検討、情報交換等、地域包括支援ネッ
トワーク会議を開催した。

参画メンバー

保健衛生課、福祉課、ふれあい工房、生活サポートセンターIランド、サポートおおさ
き、在宅介護支援センターおおさき、在宅介護支援センターみゆき、訪問看護ステーション
おおさき、大崎上島町社会福祉協議会、大崎上島町社協居宅介護支援事業所

開催日	内 容	参加者
4月13日	令和3年度地域包括支援ネットワーク会議報告 令和4年度地域包括支援ネットワーク会議（案） 情報交換・高齢者虐待について事例検討	15名
8月10日	情報交換・事例検討（Iらんどより）	10名
11月9日	情報交換・事例検討（居宅みゆきより）	13名
2月8日	情報交換・住宅改修について（深川医療機器より）	12名

②地域包括・在宅介護支援センター情報交換会 月1回実施

③介護支援専門員の資質向上を目的とした事例検討会等の開催

④介護支援専門員への相談指導及び連携強化

(4) 第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

個々の利用者に応じた総合的かつ効果的なケアマネジメントを作成するとともに、サービ
ス提供においても、住民主体の通いの場等の活用を推進する。また、町福祉課が実施する通
所型サービスC（短期集中リハビリ教室）の参加を希望された方を対象に、基本チェックリ
ストを実施し、サービス利用該当者へは介護予防サービス計画を作成した。

【介護予防ケアマネジメント件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
継続	62	66	64	64	64	65	64	62	59	61	61	57	749
新規	1	1	0	1	2	0	1	1	2	1	2	0	12

【通所型サービスC（短期集中予防サービス）事業期間】

	期 間	日 時	回数（コース）	参加者数
第1期	6月7日～9月13日	毎週火曜	14回	4人
第2期	11月8日～2月14日	毎週火曜	14回	3人

生活機能向上リハビリ教室に関する自立支援型地域ケア個別会議 10月25日

2. 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

（1）地域包括支援ネットワークの構築

地域包括支援ネットワーク会議開催のほか、社会福祉協議会が主催する小地域福祉活動推進事業推進会議に参画し、関係機関との情報共有を図り、連携の体制作りに努めた。

（2）市町村圏域を超えたネットワークの構築

広島中央認知症疾患医療センターが担当する広島中央地区認知症医療連携協議会に参画し、情報共有等を行い、連携体制強化に努めた。

3. 地域ケア会議の開催

（1）地域ケア個別会議

介護支援専門員が抱える困難事例や包括支援センターが把握した個別の困難ケースに対して、多職種・地域住民協働による地域ケア会議を随時開催し、地域支援ネットワークの構築に努めた。※包括支援センター主催会議は★印

月 日	場 所	参加者数	内 容	備 考
10月25日	役場木江支所	11名	自立支援型地域ケア個別会議生活機能向上リハビリ教室（3ケース）	みゆき、在宅看護師、歯科衛生士、役場（保健衛生課、福祉課）、社協、包括
★ 2月17日	木江保健福祉センター	11名	事例の情報共有・対応について	役場（保健衛生課、福祉課）、民生委員、巡回相談員、社協、社協居宅、包括
★ 3月28日	木江保健福祉センター	8名	事例の情報共有・対応について	役場（保健衛生課、福祉課）、社協、社協居宅、包括

4. 指定介護予防支援業務

介護保険制度における要介護認定軽度者（支援1,2）が、可能な限り居宅において自立した生活ができるよう、利用者の心身の状態、環境に応じ、自己選択、自己決定に基づいた介護予防サービス計画を作成した。業務を委託している居宅介護支援事業所には介護予防サービス計画作成の確認をした。

【介護予防サービス計画作成】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
継続	49	47	47	49	51	49	47	46	52	42	46	51	576
新規	3	1	3	1	2	1	3	5	2	1	2	1	25

5. 介護予防の推進

地域住民の集まる場を積極的に活用し、予防重視型システムの考え方のもと、介護予防等の普及啓発に取り組んだ。

(1) 介護予防学習会（会場：ふれあいサロン等）

月 日	会 場 / 内 容	担当者	参加人数
6月10日	向山サロン／認知症について	川上	9人
8月5日	定例民協（木江役場）／介護保険制度について	川上	36人
9月4日	山尻サロン／介護保険制度や認知症について	川上	9人
10月20日	小原サロン／介護保険制度について	沖本	12人
10月26日	沖浦サロン／福祉サービスのことや認知症について	墨田	9人

6. 町が取り組む事業との連携

(1) 在宅医療・介護連携の推進

大崎上島町在宅医療・介護連携推進会議に出席し、地域の保健、医療及び介護関係者並びに地域住民と、医療と介護関係分野の連携の強化について協議を行った。

(2) 認知症施策の推進

①認知症初期集中支援チーム員会議

認知症が疑われる方や、認知症の方及びそのご家族で、介護サービスや医療サービスを受けていない方に対し、本人または家族の同意を得て、専門チームが訪問し、初期段階の対応を話し合い、包括的・集中的（最長6か月）な支援についての方向性を話し合う会議。

会議参加者

チーム医：釋舎龍三医師 事務局：福祉課1名 チーム員：保健衛生課4名 包括2名

月 日	曜	内 容	場 所	参加者数
5月10日	火	令和4年度の会議開催について・情報交換	ときや内科	8名

②認知症サポーター養成講座

認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを育成するため、養成講座の講師役として協力した。

月 日	内容／会場	担当者	参加人数
6月24日	認知症サポーター養成講座／大崎上島開発総合センター	川上・墨田高	13人
6月24日	認知症サポーター養成講座（夜間）／大崎上島開発総合センター	川上・墨田高	7人
6月27日	認知症サポーター養成講座①／広島銀行 木江支店	川上	10人
7月19日	認知症サポーター養成講座②／広島銀行 木江支店	川上	10人
10月7日	認知症サポーター養成講座 ステップアップ研修／大崎上島開発総合センター	川上・墨田高	13人
10月7日	認知症サポーター養成講座 ステップアップ研修（夜間）／大崎上島開発総合センター	川上・墨田高	9人
12月23日	認知症サポーター養成講座 ステップアップ研修／広島銀行 木江支店	川上・墨田高	10人
2月7日	認知症サポーター養成講座（生徒対象）／海星高校	川上	33人

(3) 障害者支援の推進

大崎上島町自立支援協議会定例会へ出席し、障害者の地域生活を支えるため、相談支援事業の適切な運営及び障害福祉に関するシステムづくりに関して、中核的な役割を果たす協議の場へ参加した。

参画メンバー

自立支援協議会：住民代表、保健・医療関係者、福祉関係者、サービス事業関係、地域関係者、高齢者を支援している関係者

(4) 地域ケア推進会議

「地域ケア推進会議」にて、地域づくり・資源開発及び政策の形成が図れるよう取り組んだ。

(5) 地域づくりによる介護予防支援事業「いきいき百歳体操」への協力

住み慣れた地域で暮らし続けるための筋力を維持向上する「いきいき百歳体操」の推進に対しての協力を行った。

月 日	地区	会場	内 容	参加者数	備考
4月7日	向山	大崎解放教育集会所	初回支援・体力測定	6名	川上・沖本
4月27日	向山	向山老人集会所	介護予防（膝痛）について	22名	川上
5月12日	三里浜	沖浦漁村センター	介護予防（膝痛）について	20名	墨田（高）
5月19日	天満	天満会館	介護予防（膝痛）について	9名	墨田（高）
5月28日	矢弓	矢弓集会所	介護予防（膝痛）について	10名	沖本
6月7日	原下	原下集会所	介護予防（膝痛）について	14名	川上
6月16日	大西	大西集会所	介護予防（膝痛）について	14名	川上
6月21日	古江	古江集会所	介護予防（膝痛）について	15名	沖本
7月4日	鮎崎	鮎崎集会所	介護予防（膝痛）について	15名	沖本
7月19日	宇浜	宇浜老人集会所	介護予防（膝痛）について	9名	墨田（高）
7月22日	山尻	山尻集会所	体力測定	8名	川上
8月2日	垂水	垂水老人集会所	介護予防（膝痛）について	13名	沖本
8月19日	山尻	山尻集会所	体力測定 結果報告	6名	川上
9月17日	外表	外表区伝承館	介護予防（膝痛）について	12名	沖本
9月20日	本郷	本郷集会所	介護予防（膝痛）について	11名	川上
9月22日	岩白	岩白老人集会所	介護予防（膝痛）について	8名	墨田（高）
9月26日	片浜	片浜集会所	介護予防（膝痛）について	10名	川上
10月6日	東原下	東原下集会所	介護予防（膝痛）について	8名	川上
10月15日	大田区	大田集会所	介護予防（膝痛）について	6名	沖本
10月18日	原田区	西野公民館	介護予防（膝痛）について	14名	川上
10月22日	上の谷	上の谷老人集会所	3か月支援	18名	墨田（高）
10月27日	盛谷区	盛谷老人集会所	介護予防（膝痛）について	18名	沖本
11月4日	山尻	山尻集会所	体力測定結果報告	8名	墨田（高）
11月6日	野賀区	天寿会館	介護予防（膝痛）について	8名	墨田（高）

11月15日	瀬井区	瀬井集会所	介護予防（膝痛）について	7名	川上
11月12日	明石区	明石会館	介護予防（膝痛）について	18名	墨田（高）
11月24日	大串区	大串老人集会所	介護予防（膝痛）について	12名	墨田・沖本
12月3日	上組・下組	上組老人集会所	介護予防（膝痛）について	12名	沖本
12月22日	向山	大崎解放教育集会所	6か月支援	4名	川上
1月17日	白水區	白水集会所	介護予防（膝痛）について	15名	川上
1月28日	上の谷区	上の谷老人集会所	6か月支援	21名	墨田（高）
2月6日	小原区	小原老人集会所	介護予防（膝痛）について	19名	沖本
2月22日	郷区	木江会館	介護予防（膝痛）について	26名	墨田（高）
3月9日	木越区	木越会館	介護予防（膝痛）について	8名	墨田（高）

7. 社協が取り組む事業との連携

(1) 生活支援サービスの体制整備の推進

- ・ 支え合う地域づくり協議体委員会

支え合う地域づくり協議体委員会へ出席し、地域包括ケアシステムの構築を目指し、共に考え、共に支え合う地域づくりを推進した。（1回開催）

参画メンバー

支え合う地域づくり協議体：住民代表、保健・医療関係者、福祉関係者、サービス事業関係、地域関係者、高齢者を支援している関係者

(2) ボランティア活動や地域福祉活動の推進・支援

(3) 包括的な相談支援体制の構築

- ・ ぐらしの相談会（介護、障害、子供、困窮）への参加

8. その他の業務及び研修への参加

(1) 出張・研修

地域包括ケアの考え方の下、中核機関として、地域包括支援センターが地域支援に対する役割は大きく、その基本機能を果たすべく積極的に受講・学習し、資質向上、研鑽に努めた。

月 日	出張・研修内容	出張先	担当
5月19日	令和4年度第1回広島中央地域保健対策協議会4部会合同会議	オンライン	川上
5月19日 ～20日	令和4年度広島県包括・在宅介護支援センター協議会 基礎研修	オンライン	沖本
6月17日	広島中央地区認知症医療連携協議会	東広島市 広島中央認知症疾患医療センター	川上
6月17日	令和4年度 キャラバンメイト養成研修	広島市 国保会館	沖本
6月30日	令和4年度高齢者虐待対応研修「擁護者による高齢者虐待対応の基本（実践編）」	オンライン	川上

8月2日	令和4年度地域共生社会実現のための地域支え合いコーディネート機能強化研修	広島市 広島県社会福祉会館	川上
8月9日	令和4年度市町等苦情処理ブロック別（西部東ブロック）連絡会議	東広島市 広島県東広島庁舎	川上
9月12日	令和4年度地域共生社会実現のための地域支え合いコーディネート機能強化研修	広島市 広島市総合福祉センター	川上
10月6日	主任介護支援専門員更新研修 科目 認知症に関する事例	オンライン	墨田高
10月6日	病院受診付添い	東広島市 県立安芸津病院	沖本
11月5日	2022年度認知症初期集中支援チーム員研修	オンライン	沖本
11月9日	退院前カンファレンス	東広島市 県立安芸津病院	沖本
12月8日	ご利用者手術前検査、説明 付き添い	東広島市 県立安芸津病院	沖本
12月22日	2022年度広島中央圏域地域リハビリテーション専門職等人材育成ステップアップ研修	オンライン	川上 沖本
12月26日	令和4年度広島県介護予防ケアマネジメント及び短期集中予防サービス活用研修	オンライン	墨田高 墨田順
2月1日	令和4年度認知症地域支援推進員及び認知症初期集中支援チーム員合同研修会	オンライン	川上 墨田高 沖本
2月3日	退院前カンファレンス	東広島市 県立安芸津病院	沖本
2月14日	広島県自立支援に資する介護予防ケアマネジメントのためのアセスメントマニュアル活用研修	オンライン	沖本
3月3日	広島中央地区認知症医療連携協議会	東広島市 広島中央認知症疾患医療センター	川上
3月16日	「適切なケアマネジメント手法」普及推進セミナー ～時代が求めるマネジメントの在り方と実践	オンライン	墨田高
3月27日	退院前カンファレンス	広島市 山本整形外科	墨田高

（2）認知症の人と家族の会の開催

認知症の人を介護する家族等を対象に、日頃の悩みの相談や仲間づくり等、精神的負担軽減につながるよう役場福祉課が行っている「カフェ・オレンジ（認知症カフェ）」のスタッフと合同で座談会を中心に開催した。

月 日	曜	内 容	場 所	家族会参加者数
4月22日	金	座談会	オレンジハウス	8名
5月27日	金	座談会	オレンジハウス	6名
6月24日	金	座談会	オレンジハウス	5名
7月22日	金	座談会	大崎上島総合開発センター	5名
8月26日	金	座談会	大崎上島総合開発センター	6名
9月23日	金	座談会	オレンジハウス	6名
10月28日	金	座談会	大崎上島総合開発センター	5名
11月25日	金	座談会	大崎上島総合開発センター	4名
12月16日	金	座談会	大崎上島総合開発センター	6名
1月27日	金	座談会	オレンジハウス	5名
2月24日	金	座談会	オレンジハウス	6名
3月24日	金	座談会	オレンジハウス	6名

(3) 地域密着型サービス運営推進会議の参加

月 日	会 場 / 内 容	担当者
9 月	大崎荘デイサービス運営推進会議（書面）	墨田高
3 月	大崎荘デイサービス運営推進会議（書面）	墨田高

(4) 町福祉課との打合せ会議の実施

毎月1回開催される町保健衛生課保健指導係の主催する保健福祉包括連絡会議へ出席し、情報共有を図り連携体制作りに努めた。